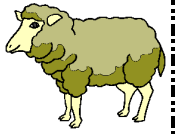


平成27年の夢と希望を「はやぶさ2」に乗せて

平成27年の幕開けです。年始にあたり、今年目標や新たな誓いを立てられた人も多いのではないでしょうか。今年一年、皆様にとってよい年になることを願っています。

1月は一年の始まりの月ですが、学校では、今年度の締めくくりの学期となります。本校の教育目標「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気な子」の達成状況をしっかりと点検・評価しながら、着実に前進できるよう児童の実態に応じた支援を行っていきたいと思っています。そして、笑顔があふれる学校にしていきたいと思っています。本年もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



3学期初日の児童の様子 <1月7日> 落ち着いて3学期のスタート!

始業式に始まり、地区児童会や学級活動、そして早速授業を行いました。冬休みに、夜更かしをして生活のリズムの崩れている児童もいるようでしたが、全体的には落ち着いて、学習や活動に取り組んでいました。印象的だったのは、休憩時間の遊びの様子でした。長縄跳び、短縄跳び、一輪車、キックベースボール、サッカー、鉄棒、ブランコ、滑り台、登り棒等、様々な遊びを楽しんでいました。久しぶりに出会った友だちと一緒に遊ぶ喜びを味わっているように感じました。



〔始業式で校歌を歌う全校児童〕



〔書き初めを見せ合う1年生〕



〔地区児童会での話し合いの様子〕



〔休憩時間の遊びの様子〕



〔授業に真剣に取り組む6年生〕

神島にこの人あり! 藤井八重子さん — 希望の光「ダイヤモンド折り紙」の制作者 —



〔精魂込めて制作に取り組む八重子さん〕

ご存じの方も多いと思いますが、高地区在住の藤井八重子さんをご紹介します。八重子さんは28年ほど前に病気を患われ、車椅子生活を送られています。その後、左手も不自由になったために、リハビリを兼ねて折り紙を始められました。ダイヤモンド折り紙は、12枚の折り紙を組み合わせて作っていますが、最初はそのうちの1枚を作るのに、一年半かかったそうです。そして、一つのダイヤモンド折り紙が完成するまでには、さらに一年を要したそうです。この間、お二人の娘さん(当時中学生と小学生)が、八重子さんに優しく寄り添って、丁寧に折り方を教えてくれたそうです。1枚の折り紙を折ったり12枚の折り紙を組み合わせたときは、顎や頬、衣服の折り目などを巧みに使って、ほとんど右手だけで折られています。ここに至るまでの約23年間毎日ご努力を重ねられ、今では約1時間で一つのダイヤモンド折り紙を完成するまでになられています。折り方も年々同じものではなく、独自で改良され新しいバージョンへと進化しています。

ダイヤモンド折り紙ができるにしたがい、「子どもたちのために」という思いが募るようになり、神内小学校を始め知り合いの小学校に届けられるようになりました。そして、平成4年からは、笠岡市内と里庄町のすべての小学校の6年生に、卒業祝いとして届けられています。さらに3年前からは、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町内の小・中学校へも届けられています。子どもたちの輝かしい未来を祝福したいという願いを込めて折り続けられている八重子さんは、「何か一つでも根気強く続けることが大切ですね。」とおっしゃられています。これだけ長い期間継続して続けてこられたのは、ご本人の強い意志と子どもたちが心豊かに成長して欲しいという願いが強かったということも言うまでもありませんが、その陰にはいつも家族の温かい支えがあったからこそだと思います。八重子さんの「一人一人はかけがえのない存在であり、ダイヤモンドのようにいつまでも輝いてほしい。」という願いを、6年生の心にしっかりと届けていきたいと思っています。八重子さんの心は、ダイヤモンドのように一点の曇りもなく、全国に向かって光りを放っています。

3学期の主な行事予定

2月19日(木) 新1年保護者会
3月19日(木) 卒業式

2月25日(水) 参観日・学級懇談
3月26日(木) 修了式